

注3

大学番号：407

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

明治国際医療大学大学院 鍼灸学専攻科 臨床鍼灸学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 明治東洋医学院
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合情報基盤推進室 企画情報担当

職名・氏名 カカリチョウ 係長 フタナベ ヒロキ 渡辺 博樹

電話番号 0771-72-1231

（夜間） 0771-72-1231

F A X 0771-72-1040

e-mail sec_plan@meiji-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学院等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	7
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項に対する履行状況等	15
7. その他全般的事項	16

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明治東洋医学院

(2) 大学名

明治国際医療大学

(3) 大学の位置

〒629-0392
京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タニグチ カズヒサ) 谷口 和久 (平成5年7月1日)	(ナカガワ マサオ) 中川 雅夫 (平成22年5月23日)	任期満了交替 平成22年5月23日 (22)
学長	(ナカガワ マサオ) 中川 雅夫 (平成18年4月1日)		
研究科長	(ヤノ タダシ) 矢野 忠 (平成20年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻 修士(臨床鍼灸学)	2年	8人	16人	基礎となる学部等 鍼灸学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8人	1人	8人	1人	(-)	(-)	0.93倍	
	(-)		(-)		[-]	[-]		
志願者数	6	-	9	-	(-)	(-)		
	(-)	(-)	(-)	(-)	[-]	[-]		
受験者数	6	-	9	-	(-)	(-)		
	(-)	(-)	(-)	(-)	[-]	[-]		
合格者数	6	-	9	-	(-)	(-)		
	(-)	(-)	(-)	(-)	[-]	[-]		
B 入学者数	6	-	9	-	(-)	(-)		
	(-)	(-)	(-)	(-)	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	0.75		1.12					

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—] 6	[—] —	[—] 9	[—] —			
2年次	/		[—] 6	[—] —			
計			[—] 6	[—] 15			

- (注)
- ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	6人	0人	平成23年度	人	人		0%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	9人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	15人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	統合医療学特論Ⅰ	1前	2			1						
	統合医療学特論Ⅱ	1後	2									
	臨床鍼灸学特論Ⅰ	1前	1			4						
	臨床鍼灸学特論Ⅱ	1前	1				4 5	1		3 4		
	伝統鍼灸学特論	1前	1									
	臨床鍼灸学演習	1後	1				4 5	1		3 4		
	伝統鍼灸学演習	1後	1									
	附属鍼灸センター特別実習	1通	4				4 5	1		3 4		
	附属病院特別実習	1通	4			4						
	臨床鍼灸研究技法	1通	2				4 5					
小計(10科目)			19	0	0	5	4 5	1		3 4	0	
専門	内科系臨床鍼灸学特論	1通		2		1	1	1		0 1		
	整形外科系臨床鍼灸学特論	1通		2		1	1			1		
	外科系臨床鍼灸学特論	1通		2		2	0 1			1		
	ウェルネス臨床鍼灸学特論	1通		2		1	2			1		
	内科系臨床鍼灸学演習	2通		2		1	1	1		0		
	整形外科系臨床鍼灸学演習	2通		2		1	1			1		
	外科系臨床鍼灸学演習	2通		2		2	0 1			1		
	ウェルネス臨床鍼灸学演習	2通		2		1	2			1		
	附属病院内科系特別実習	2通		4		1	1	1		0		
	附属病院整形外科系特別実習	2通		4		1	1			1		
	附属病院外科系特別実習	2通		4		2	0 1			1		
	ウェルネス臨床鍼灸学特別実習	2通		4		1	2			1		
	特別研究	1~2	8			5	4 5	0		0		
小計(13科目)		—	8	32	0	5	4 5	1 0		3 4		
合計			27	32	0	5	4 5	1 0		3 4		

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
11科目	12科目	0科目	33科目	11科目	12科目	0科目	33科目	変更なし
				[—]	[—]	[—]	[—]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	11,661㎡	— ㎡	— ㎡	11,661㎡				
	運動場用地	30,135㎡	— ㎡	— ㎡	30,135㎡				
	小 計	41,796㎡	— ㎡	— ㎡	41,796㎡				
	そ の 他	136,360㎡	— ㎡	— ㎡	136,360㎡				
	合 計	178,156㎡	— ㎡	— ㎡	178,156㎡				
(2) 校 舎	専 用	19,804㎡	— ㎡	— ㎡	19,804㎡				
	(19,804㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(19,804㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	30室	演 習 室 6室	実験実習室 17室	情報処理学習施設 2室 (補助職員 3人)	語学学習施設 (1) 室 (補助職員 1人)	大学全体 情報処理施設の内1室 は語学学習施設の機能 を有している		
	新設学部等の名称	室 数							
(4) 専任教員研究室	鍼灸学研究科臨床鍼灸学専攻			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	申請研究科全体 大学全体での共用分 図書等25,893冊 26,409 26,671	
	鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻	44,026 [11,057] 42,861 [10,902] 41,477 [10,731] 44,026 [11,057] 42,861 [10,902] (41,477 [10,731])	155 [52] 172 [57] 178 [60] 155 [52] 172 [57] (178 [60])	43 [43] 19 [19] 16 [16] 43 [43] 19 [19] (16 [16])	1,533 1,490 1,461 1,533 1,490 (1,461)	105 101 107 (105) (101) (107)	(0)		
	計	44,026 [11,057] 42,861 [10,902] 41,477 [10,731] 44,026 [11,057] 42,861 [10,902] (41,477 [10,731])	155 [52] 172 [57] 178 [60] 155 [52] 172 [57] (178 [60])	43 [43] 19 [19] 16 [16] 43 [43] 19 [19] (16 [16])	1,533 1,490 1,461 1,533 1,490 (1,461)	105 101 107 (105) (101) (107)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積	465㎡		閱 覧 座 席 数	94席	収 納 可 能 冊 数	70,000冊		
	面 積	3,825㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
(7) 体 育 館			体育館には、柔道場(253畳)、トレーニングルーム含む。 陸上競技場 25,116㎡						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体の研究費を見直したため減額となった。
		教員1人当り研究費等	千円 348 教授436 288 准教授335 248 講師282 218 助教239	千円 348 教授436 288 准教授335 248 講師282 218 助教239	図書購入費	一千円	322千円	322千円	
	共同研究費等	600 800千円	1,500 1,400 1,600千円	設備購入費	一千円	一千円	一千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,700千円	第2年次 1,200千円	第3年次 一千円	第4年次 一千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金等						

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	明 治 国 際 医 療 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
鍼灸学部 鍼灸学科	4年	100人	一年次一人	400人	学士 (鍼灸学)	0.47	昭和58	京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6番地1	
保健医療学部 柔道整復学科	4年	60人	3年次2人	244人	学士 (柔道整復学)	0.54	平成16		
看護学部 看護学科	4年	60人	3年次10人	260人	学士 (看護学)	1.05	平成18		
鍼灸学研究所 鍼灸学専攻 修士課程	2年	8人	一年次一人	16人	修士 (鍼灸学)	1.18	平成3		H23定員減
鍼灸学研究所 鍼灸学専攻(通信教育課程) 修士課程	2年	16人	一年次一人	32人	修士 (鍼灸学)	1.66	平成23		H23新設
鍼灸学研究所 鍼灸学専攻 博士後期課程	3年	4人	一年次一人	12人	博士 (鍼灸学)	0.58	平成6		
専門学校の名称	明 治 東 洋 医 学 院 専 門 学 校								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
第1鍼灸学科 I部(午前)	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.63	昭和34	大阪府吹田市西御旅町7-53	
第1鍼灸学科 II部(午後)	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.68	〃		
第2鍼灸学科	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.58	〃		
第1柔整学科	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.87	〃		
第2柔整学科	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.68	〃		
教員養成学科	2年	25人	一年次一人	50人	専門士	0.44	平成5		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	今西 二郎 (64高)	平成23年4月	統合医療学特論Ⅰ ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
専	教授	苗村 健治 (58)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習 特別研究						
専	教授	糸井 恵 (54)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 整形外科系臨床鍼灸学特論※ 整形外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院整形外科系特別実習 特別研究						
専	教授	田中 忠蔵 (61高)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究	兼任	教授	樋口 敏宏 (55)	平成24年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究	平成24年3月田中忠蔵教授退職のため平成24年度より担当の変更
専	教授	中尾 昌宏 (57)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究						
専	准教授	福田 文彦 (45)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習 附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習 特別研究						
専	准教授	越智 秀樹 (46)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ 整形外科系臨床鍼灸学特論※ 整形外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院整形外科系特別実習 特別研究						
専	准教授	今井 賢治 (45)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究	専	教授	今井 賢治 (46)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究	平成23年4月から昇任(23)
専	准教授	廣 正基 (47)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
専	准教授	岩 昌宏 (45)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
専	助教	竹田 太郎 (39)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習	専	講師	竹田 太郎 (40)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習	平成23年4月から昇任(23)
専	助教	中島 美和 (30)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 整形外科系臨床鍼灸学特論※ 整形外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院整形外科系特別実習						

専	助教	田口 玲奈 (36)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院整形外科系特別実習						
専	助教	木村 啓作 (32)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 附属鍼灸センター特別実習 ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習						
兼任	教授	山村 義治 (56)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習 特別研究						
兼任	教授 (研究 科長)	矢野 忠 (65高)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
兼任	教授	糸井 啓純 (57)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究						
兼任	教授	北小路 博司 (61高)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論Ⅱ※ 臨床鍼灸学演習※ 特別研究						
兼任	教授	篠原 昭二 (55)	平成23年4月	伝統鍼灸学特論※ 伝統鍼灸学演習※ 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究						
兼任	教授	片山 憲史 (50)	平成23年4月	附属鍼灸センター特別実習 ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
兼任	教授	金井 恵理 (42)	平成23年4月	附属病院特別実習 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習	兼任	教授	金井 恵理 (43)	平成24年4月	臨床鍼灸学特論Ⅰ※ 附属病院特別実習 内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習	平成24年3月山村義治 教授退職のため 平成24年度より担当 者の変更
兼任	教授	智原 栄一 (55)	平成23年4月	附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習	兼任	助教	野村 麻由子 (37)	平成24年4月	附属病院特別実習	平成23年9月智原栄一 教授退職のため 平成24年度より担当 者の変更
兼任	教授	大藪 秀昭 (51)	平成23年4月	附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究						
兼任	教授	川喜田 健司	平成23年4月	臨床鍼灸研究技法※						
兼任	教授	石崎 直人 (46)	平成23年4月	内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習 特別研究						

兼担	准教授	渡辺 勝之 (46)	平成23年4月	統合医療学特論Ⅱ						
兼担	准教授	和辻 直 (46)	平成23年4月	伝統鍼灸学特論※ 伝統鍼灸学演習※ 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究						
兼担	准教授	江川 雅人 (47)	平成23年4月	ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
兼担	講師	斉藤 宗則 (40)	平成23年4月	伝統鍼灸学特論※ 伝統鍼灸学演習※	兼担	准教授	斉藤 宗則 (41)		伝統鍼灸学特論※ 伝統鍼灸学演習※	平成24年4月か ら昇任(24)
兼担	講師	高橋 則人 (40)	平成23年4月	附属鍼灸センター特別実習 臨床鍼灸研究技法※ ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習 特別研究						
兼担	講師	鈴木 雅雄 (36)	平成23年4月	内科系臨床鍼灸学特論※ 内科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院内科系特別実習 特別研究						
兼担	講師	伊藤 和憲 (38)	平成23年4月	整形外科系臨床鍼灸学特論※ 整形外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院整形外科系特別実習 特別研究						
兼担	講師	井上 基浩 (42)	平成23年4月	整形外科系臨床鍼灸学特論※ 整形外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院整形外科系特別実習 特別研究						
兼担	講師	鶴 浩幸 (40)	平成23年4月	外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究						
兼担	講師	本城 久司 (43)	平成23年4月	外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究	兼担	講師	本城 久司 (44)	平成23年4月	外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習 特別研究	平成23年4月か ら昇任(23)
兼担	講師	寺井 和都 (41)	平成23年4月	附属病院特別実習 外科系臨床鍼灸学特論※ 外科系臨床鍼灸学演習※ 附属病院外科系特別実習						
兼担	助教	関 真亮 (35)	平成23年4月	伝統鍼灸学特論※ 伝統鍼灸学演習※	兼担	講師	関 真亮 (36)	平成23年4月	伝統鍼灸学特論※ 伝統鍼灸学演習※	平成23年4月か ら昇任(23)
兼担	助教	太田喜穂子 (35)	平成23年4月	ウェルネス臨床鍼灸学特論※ ウェルネス臨床鍼灸学演習※ ウェルネス臨床鍼灸学特別実習						

兼任	講師	新田 節子 (61高)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論 I	兼任	准教授	鈴木 雅雄 (37)	平成23年4月	臨床鍼灸学特論 I	平成23年3月に 本学附属病院 を退職したこと による変更
----	----	----------------	---------	-----------	----	-----	---------------	---------	-----------	--

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究補助要員	計	助手	研究指導教員	研究補助要員	計	助手	
10 (10)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	9 [△1]	0 [-]	9 [△1]	0 [0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、

「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	田中 忠蔵	定年による退職のため
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任の上記専任教員の担当科目は、後任の教授が担当するため学生の履修等の影響はない。なお、本年度研究指導担当学生はなく、その他の科目の周知は配付するシラバスにて行う。

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年5月)	鍼灸学部鍼灸学科、 保健医療学部柔道整復学科の 定員充足率が0.7倍未満となっ ていることから、学生確保に 努めるとともに、入学定員の 見直しについて検討すること。	現在、日本私立学校振興・共 済事業団の助言を受けなが ら、経営改善に向けた取り組 みを実施している。鍼灸学部 鍼灸学科は、平成25年度入試 から、入学定員を100人から80 人に削減する。また、柔道と の関連が深い保健医療学部柔 道整復学科では、柔道部特別 奨学金制度を設け、一定の効 果があった。以後、継続的に PRし学生確保に努める。	

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

＜鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻＞

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 明治国際医療大学ファカルティ・ディベロップメント委員会 委員会規程は別途添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会の組織は、各学部の選任の教員の中から選ばれた者各2名、医学教育研究センターの専任の教員の中から選ばれた者 若干名、専任の事務職員の中から選ばれた者2名、その他学長が必要と認める者で校正で構成されている。平成23年度は2回開催。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD推進のための企画、立案、実施及び調整等に関すること FDに関する報告書等の作成に関すること その他FDの推進に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生に対する授業評価アンケートの実施 ・ FD研修会の実施 ・ 「FDニュースレター」の発行 ・ 教員相互の授業公開、授業参観の実施 <p>b 実施方法 ・FD委員会の下に「FD研修小委員会」及び「授業アンケート・授業改善小委員会」を組織し、実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度のFD研修会は2回実施し、開催テーマは以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 「学生指導の取組の現状と、今後の教育・学生支援について」（グループディスカッション）：参加者数：44名 (2) 「金沢工業大学における教育改善の取組—数理教育を中心とした基礎教育において—」（学外講師による講演、グループディスカッション）：参加者数48名 ・ 平成23年度「FDニュースレター」を3回発行した。 ・ 授業公開・授業参観について、平成23年度初めて公開が可能な20科目について実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施あり
- ・前期、後期の授業終了時期に実施

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・アンケートの集計結果は学内のホームページに掲出し、教員・学生に周知している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>本専攻の設置の目的は、鍼灸医学の臨床分野における高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成を行うと共に、我が国及び世界の鍼灸医療の専門性の確立と医療の質の向上に寄与し、社会に貢献することである。</p> <p>初年度である平成23年度入試においては、全国の鍼灸系専門学校への広報活動を行ったが、定員を充足することができなかった。今後全国の鍼灸系学部を持つ大学が完成年度を迎える中で、需要も増加することが予想される。昨年度の入試結果を踏まえ、本設置目的を達成するために志願者確保に傾注した結果、平成24年度入試では、定員を充足することができた。</p> <p>a 教育環境の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none">・本専攻では、伝統的な観点と現代医学的な観点の双方から、内科系臨床鍼灸学、外科系臨床鍼灸学、整形外科系臨床鍼灸学、ウェルネス臨床鍼灸学の各分野に関する疾患や症状に対する高度な診療技能を学ぶため、附属鍼灸センターおよび附属病院等での臨床研修を用意している。 <p>b 入学者選抜の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・開設年度（平成23）は、入学定員8名に対し6名の入学者であった。・平成24年度は、入学定員8名に対し、9名の入学者であった。 <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・現状、平成20年度の実施分を公表中。平成24年度に自己点検評価を行い、翌年度に公表する予定で学内で検討中。 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し認証された（平成20年4月～平成27年3月）・次回は平成26年に評価を受ける予定
--

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
- また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
- なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (H23年6月1日)</p>
